

かけはし

「隠岐ハイブリッドプロジェクト」が 新エネ大賞・資源エネルギー庁長官賞を受賞

中国電力株式会社、三菱電機株式会社、日本ガイシ株式会社、株式会社GSユアサと島根県、海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町が協力して取り組んだ「隠岐ハイブリッドプロジェクト」が、令和元年度「新エネ大賞」(一般財団法人新エネルギー財団主催)の「資源エネルギー庁長官賞」を受賞しました。

島根県では、地域振興につながる再生可能エネルギー導入の取り組みを進めてきています。

今回受賞した取り組みは、中国電力や隠岐4町村などと連携し、再生可能エネルギーを活用した電力安定供給に資する事例であり、この度の受賞は大変喜ばしい出来事です。

引き続き地域で再生可能エネルギーの利活用が進むよう、取り組んでまいります。

「隠岐ハイブリッドプロジェクト」の取り組み

電気を安定的に供給するためには、常に電気の「使用量」と「発電量」の均衡を図る必要がありますが、送電線が本土と連系していない隠岐諸島で

は、電力系統の規模が本土に比べて小さく、発電機出力の変動による影響が大きくなります。そのため、自然条件等により発電量が大きく変動する再生可能エネルギーの導入拡大を図るためには、蓄電池等を活用した発電量の変動対策が必要でした。

本プロジェクトは、特性の異なる2種類の蓄電池を組み合わせた「ハイブリッド蓄電池システム」を設置することにより、導入コストの低減(約25%)、システム効率の改善(所内電力を約30%低減)、NAS電池の充放電管理の改善(充放電運転範囲を20%~80%から10%~90%に拡大)を図りつつ、自動運転により余剰電力と周波数変動を吸収し、内燃力発電機と一体的に制御することで再生可能エネルギー導入拡大に取り組んだものです。

再生可能エネルギーの導入拡大にあたっては、地元自治体の協力を得ながら事業者を公募し、PR活動も地域一体となり推進しました。

その結果、電力品質を確保(周波数滞在率の向上)しつつ、再生可能エネルギー導入量は約2,300kWから約8,000kWまで短期間で拡大しました。

ハイブリッド蓄電池システム



本プロジェクトで得られた設備の導入・保守・運用等に関する技術的知見は、国内外の離島への展開が期待できることから、本設備は、国内のみならず、太平洋島しょ国やASEAN各国から多くの方々にご視察いただいています。

【お問い合わせ先】

島根県地域振興部地域政策課
地域エネルギースタッフ

TEL: 0852-221-5957

人口減少に打ち勝ち、**笑顔**で暮らせる島根をつくる

島根*創生

SHIMANE SOUSEI

島根創生はじまります。

「島根創生計画」は、島根県の目指す将来像と、今後5年間（令和2年度から6年度）に取り組む施策の総合的・基本的な指針を示す、県の最も重要な行政計画です。

若者が増え、次代を担う子どもたちが増えることで活気にあふれ、県民一人ひとりが愛着と誇りを持って幸せに暮らし続けられる島根を目指し、計画の冒頭で「笑顔あふれるしまね暮らし」宣言を掲げて、県民の皆様と一丸となって島根創生を実現していきます。

人口減少に打ち勝つために

島根県の人口は長らく減少傾向が続いており、現在は約67万人です。

人口減少に打ち勝つために、合計特殊出生率を2035年までに2.07まで上昇させることと、人口の社会移動を2030年までに均衡(±0)させることを目標としています。

島根創生 はじまります

1 人口減少に打ち勝つための総合戦略の推進

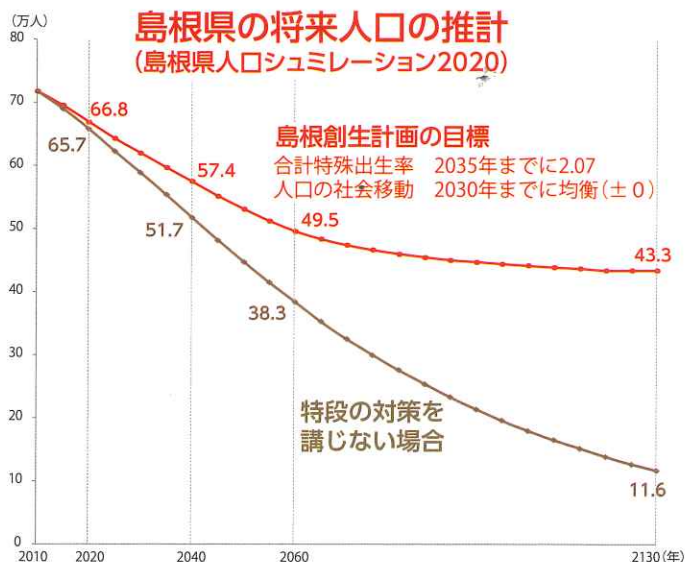
産業振興と若者の雇用確保、子育て支援、働きやすい環境づくり、生まれ育った地域への愛着と誇りを育む教育の推進、産業や生活の基盤として欠かせないインフラの整備などに、戦略的に取り組んでいきます。

2 生活を支えるサービスの充実

県民誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、医療・福祉の確保・充実を進めます。また、自然環境の保全や教育の充実により、県民が心豊かに暮らすための取組を進めます。

3 安全安心な県土づくり

県民生活の基盤となる交通ネットワークなどの社会基盤の維持・整備や、災害時に県民の生命や財産を守るための防災対策、防犯・交通安全対策を進めます。



「笑顔あふれるしまね暮らし」宣言

島根には、自然と歴史の中で営んできた、人々の豊かな暮らしがあります。

近所では、子どもたちが元気に走り回り、
若者は恋愛をし、趣味を楽しみ、地域活動にも参加する。
家族を思い、やりがいのある仕事に就き、
高齢になっても、元気で生きがいを感じている。
皆で囲む食卓は笑い声に包まれ、穏やかで心地よい時間が流れる。

そんなごく普通の暮らしです。

地域の助け合いや絆が残る古き良き人間関係が、郷土愛と誇りを育み、
人々の多様な関わりを通して生まれる新しい試みが、未来への希望を高め、
暮らしをより豊かなものにしていきます。

この人間らしい、温もりのある暮らしを、ここで営み続けたい。
未来の子どもたちへ、大切に贈り届けたい。
日本中の多くの人へ、島根にしかない暮らしを知ってもらいたい。

「島根創生」の始まりにあたり、
「笑顔あふれるしまね暮らし」を守り、育て、未来へつなげていくことを、
ここに宣言します。

TEL: 0852-22-5093

島根県 政策企画局 政策企画監室

お問い合わせ先



イメージ動画はこちら

人口減少に打ち勝ち、**笑顔**で暮らせる島根をつくる

主な新規・拡充事業

農業の振興

生産性・収益性の向上、特色ある生産の推進、地域の中核となる担い手の確保を図ります。

- 水田園芸の推進
- 肉用牛産地の拡大
- 新規就農者の確保



林業の振興

収益力向上、林業を支える担い手の確保を進め、循環型林業の定着・拡大を図ります。

- 製材力の強化
- 県産木材の利用促進
- 将来の林業を支える担い手の育成

水産業の振興

沿岸漁業の就業者を確保し、漁村の活力再生を図ります。

- 所得向上につながる取組の推進
- 沿岸漁業と漁村をけん引する担い手の確保・育成



ものづくり・IT産業の振興

競争力の強化や地域の特性を活かした産業の発展を目指します。

- 地域集積産業の高度化支援
- IT企業の技術・商品力強化支援
- 海外への販路拡大

観光の振興、魅力の発信

しまねの魅力を最大限に活かし国内外の誘客拡大を進めます。

- 「美肌県しまね」の推進
- 外国人誘客の推進
- 日比谷しまね館の活用



成長を支える経営基盤づくり等

新たなチャレンジなどを支える経営基盤の強化や雇用の場の創出を図ります。

- 商業・サービス業の県外展開支援
- 県内企業の再投資の促進
- 中山間地域等への企業誘致の促進

中山間地域・離島の暮らしの確保

住民主体による持続可能な地域運営の仕組みづくりを進めます。

- 「小さな拠点づくり」の加速化
- 集落営農体制の早期確立



地域の経済的自立の促進

地域経済の好循環を生み出し、持続的な発展につなげます。

- スモール・ビジネスの育成
- 農林水産業を基礎とした特色ある産地の育成

地域振興を支えるインフラの整備

県民生活や企業活動に欠かせない社会インフラの整備を進めます。

- 生産性向上に向けたインフラづくり
- 中山間地域等における企業の立地環境の整備



＊こう変わります！ あなたの暮らし。

結婚・出産



「結婚しよう」、「子どもを産み育てよう」と思う若い世代の希望をかなえられる環境をつくれます。

- 結婚への支援
- 妊娠期から産前産後の支援
- 結婚や家庭についての理解促進

「子どもをもう一人育てたい」と思えるよう、地域や社会が寄り添い、安心して子育てできる環境を整えます。

- 子育て支援
- 子育ての負担の軽減
- 特別な支援が必要な子と親への支援の充実

子育て



保育



「仕事と子育てを両立したい」という願いをかなえるため、子どもが安心して過ごせる居場所を確保し、待機児童の解消と、保育の質の向上を図ります。

- 保育環境の充実
- 放課後児童クラブの充実

子どもたちの「学びたい」という気持ちを大切に、島根への愛着と誇りを持ち、未来を切り拓く「生きる力」を育みます。

- 学校と地域の協働
- 少人数学級編成の実施

教育



就職・定住



「島根で働きたい、暮らしたい」と思えるよう、県内企業等の魅力を体験する機会を増やし、誰もが能力や経験などを活かせる県内就業を促進します。

- 大学生等への県内就職支援
- 県内大学等との連携による県内就職の促進
- Uターン・Iターンの促進

「島根に生まれてよかった、島根に住んでよかった」と思えるよう、安心して家庭生活を営み、仕事に取り組むことができる環境をつくれます。

- 女性活躍の推進
- 男性の家事・育児・介護の分担の促進
- 子育てと仕事の両立に向けた職場環境の整備
- 多文化共生の推進

働き方・暮らし方



こんにちは

関西奥出雲会です。

近畿地方で活動される市町村人会のご紹介です。
第22回は、**関西奥出雲会**のご紹介です。



関西奥出雲会
会長 源 大佑

関西奥出雲会は2009年11月29日、近畿
仁多会、関西横田会が合併し、248名の参
加者を得て「アートホテル大阪ベイタワー」
において創立総会を盛大に開催しました。

会員数は約750名、本部役員9名、出身
地区役員35名、町商工観光課2名からなる役
員会を年5〜6回、鳥根県大阪事務所又は料
理店「大栢」で開催しています。当会は「会
は楽しむもの、楽しくなければ会ではない」
を合言葉に、役員が知恵を絞って考え、会員
の皆さんが喜び、楽しんでくださるような故
郷の芸能、故郷の味覚を提供しています。特に、
会は食べ物勝負、奥出雲町で作った故郷の
味「山菜料理・煮しめ」を取り寄せ、出席の

皆さんに味わっていた
だきます。多くの会員
から「これが喰えるか
ら総会に来るんや。」と
喜ばれています。

また、故郷の物産を
求める会員のために町
商工会を通じて出店し
てもらい、会員に喜ん
でもらっています。

総会では来賓として、
鳥根県大阪事務所長、
奥出雲町長、鳥根県議会議員、町議会議員、
町商工会役員、町9地区自治会長、その他町
関係者、町誘致企業代表者など多数の出席を
いただいております。

なお、一昨年の創立10周年記念事業では、「ふ
るさと奥出雲帰省ツアー」を実施し、奥出雲町
新庁舎を訪問し大歓迎を受け、翌日は鳥根県の
溝口善兵衛知事を訪問して歓迎の挨拶をいただ
きました。

最後になりましたが、会の繁栄、発展には
地区役員のコマメな努力が必要です。会員に



関西奥出雲会 総会 懇親会

対する総会案内、連絡、
熱意ある勧誘など、懸
命なご尽力が功を奏し
て毎年200名を超える
参加者を維持する原
動力となっております。
今後とも引き続き関
西奥出雲会が盛大に開
催されるよう、役員と
一緒に頑張っていきた
いと思います。



関西奥出雲会10周年記念事業 ふるさと奥出雲帰省ツアー(2018年7月)

関西奥出雲会

〒610-0313
京都府京田辺市三山木中央 3-3-16
事務局長 澁川 博利
連絡先 0774-64-3378



豊年の舞(籾の上神話伝統保存会)

旬の農産品情報

6月から8月の 島根県産の農産品情報

産 品 名	産 地	出荷時期
<p>アムスメロン</p> <p>* 島根では 40 年以上前から栽培され、上品な香り、豊富な果汁、高糖度が特長で、アールスメロンと同様に立体栽培で一本のつるに一個だけ果実をつけて丁寧に栽培しています。初夏の島根の味覚として贈答にも最適です。</p> 	<p>益田市、 大田市ほか</p>	<p>5月下旬 から8月上旬</p>
<p>デラウエア</p> <p>* ハウス栽培が主流で、早い園では 12 月から‘加温機’でハウス内部を温め始めます。また、ハウスによって加温を始める時期を少しずつずらしたり、加温を行わないことで、収穫時期を伸ばす工夫をしています。(島根の加温栽培面積は日本一!) 強い甘みと酸味からくる深い味わいは、甘いだけのぶどうとは一味違う美味しさを感じることができます。</p> 	<p>出雲市、 益田市ほか</p>	<p>4月下旬から 8月上旬</p>
<p>アールスメロン</p> <p>* アムスメロンと同様に立体栽培で一本のつるに一果をつけ丁寧に栽培しています。果汁溢れる肉厚の果肉は密度が高く、芳醇な香りと上品なしっとりとした甘さが特長です。</p> 	<p>益田市ほか</p>	<p>7月上旬から 8月中旬</p>
<p>シャインマスカット</p> <p>* 近年、全国的にも生産量が増加している大粒で糖度が高く酸味のない芳醇なマスカット香のあるぶどうです。皮が薄く、種や渋みもないため、まるごとおいしく食べることができます。</p> 	<p>出雲市ほか</p>	<p>6月下旬から 10月上旬</p>